

ちづ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会

第143号

発行：平成30年7月20日

智頭の思い出シリーズ32



昭和30年代の那岐駅前

☆補正予算を可決...P2

☆無償譲渡で賛否...P3

☆7人の議員が町政に質問...P4~P10

☆町民の声...P12



大正12年7月に開通した鳥取一智頭間の「軽便鉄道」は「因美線」と改称され、津山まで延長される予定線となった。現在那岐駅舎は、森のミニディや智頭病院の診療所として利用されている。

「育みの郷」財産の無償譲渡など可決

6月定例会（6月15日～22日）は、町長から提出された補正予算案など18議案ほかを審議し、原案どおり可決しました。主な補正予算の内容は次のとおりです。財産の無償譲渡は3ページを参照。
一般質問は7人の議員が町政をただしました（4～10ページ）。



「すこやか安心
ネット」の構築
5000万円

■財源
国の補助金

■主な事業内容
国（総務省）の補助制度を活用して、医療や福祉の業務改善の実証を行い、他地域で参考になるモデルを創出・展開する。

【具体例】
▽既存の告知端末を使用して、特定健診などの受診勧奨や個別面接などを実施
▽タブレット端末（持ち運びできる小さなコンピュータ）で受診の予約や問診票の事前入力を実施

反対討論
都橋 一仁

不採択時を危惧
国の補助事業だが、昨年と同様に不採択となった場合、忙しい担当課（企画課）をさらに忙しくし、本来業務である町民への支援・助言などのサービス提供が手薄になることを危惧している。

賛成討論
高橋 達也

否定すべきことでない
国が全額負担して、情報通信技術を活用した地方自治体からの提案を公募するもの。これに応募して取り組もうとすることを否定すべきではない。

社会資本整備
総合交付金事業
3280万円

■財源
国の補助金 1920万円
借入金 1140万円
町のお金 220万円

■主な事業内容
国からの配分が拡充されたため、町道の整備などの事業費を増額するもの。



町道関屋黒本線
バス停（写真左）の改良が計画されている農林高校と中学校の間

【平成30年度予算の補正】 賛成多数（議長を除く出席者全員。一般会計は反対1人。）で可決

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容（上記以外）	
一般会計	9257万円 増	60億7957万円	<ul style="list-style-type: none"> 町営住宅管理事業（486万円） ⇒久志谷町営住宅2棟の解体撤去工事費 移住定住促進事業（500万円） ⇒若者の本町への定着を促進するため、シェアハウス（一つの住宅を複数人で共有して暮らす賃貸住宅）などの整備を支援 	
特別会計	国民健康保険事業	643万円 増	9億1683万円	特定健診受診者の件数増に伴うもの
	簡易水道事業	1997万円 増	2997万円	芦津地内の県砂防工事に伴う簡易水道施設の移転に必要な経費
	公共下水道事業	443万円 増	3億3739万円	4月の人事異動による人件費の調整
	農業集落排水事業	221万円 増	3億4441万円	大呂地内の県道拡幅工事に伴う下水道管の移転に必要な経費
	介護保険事業	372万円 減	10億3209万円	4月の人事異動による人件費の調整
企業会計	水道事業	168万円 増	2496万円	水源地送水ポンプの取替に必要な経費
	病院事業	5680万円 増	3億1657万円	電子カルテの保守期限（5年）到来に伴う更新に必要な経費

陳情の審査結果

賛成多数(議長を除く全員)で可決

件名	提出者	審査結果
富沢地区コミュニティセンター建設に係る要望書	富沢財産区議長ほか2団体	採択
「生産性向上特別措置法」に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特例措置に関する要望	鳥取県商工会連合会長ほか1団体	採択
中原部落地内の土木・公共施設等の改善について(協議)	中原部落区長	継続審査
横瀬川(千代川支流)護岸整備に係る陳情書	中原部落区長 地区住民一同	趣旨採択
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長ほか1団体	採択
陳情書 道路改良について	那岐財産区議長 ほか3団体	採択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合 東部支部長 ほか1団体	採択
陳情書 治山についてのお願い	野原部落世話人	採択
智頭町総合センタートイレの改修に関する要望書	智頭町連合婦人会 長	採択
地酒乾杯条例の制定に関する要望書	智頭町商工会長	採択

無償譲渡で賛否

はぐくみの郷事業で、産科医拠点として町が平成28年度に500万円で購入した中原地内の古民家を、産前産後ケアの拠点として「一般社団法人女性とこどものサポートセンターいのちね」に無償譲渡し、事業を推進しようとするもの。

【採決の結果、賛成多数(反対3人)で可決】

反対討論

中野 ゆかり

公平性から疑問

一営利企業に限定し、土地及び建物を無償譲渡するのは、公平性からして疑問が湧く。町民にも無償譲渡の内容がわかるようにすべきだ。

反対討論

岸本 眞一郎

町民の理解は得られない。育みの郷構想は、産科医院を除く部分では推進できている。譲渡後の事

反対討論

都橋 一仁

町の支援が必要。かなりの修繕が必要な建物を、町からの金銭的な支援も一切なしに譲渡することに、いささか心細さを感じざるを得ず、もう少し支援が必要ではないかと感じる。

賛成討論

酒本 敏興

自由度が高まる

古民家の無償提供で、自由度の高い子育て支援拡充が期待される。

賛成討論

高橋 達也

まずは「お手並み拝見」人口論から反対では一歩も前に進まない。今後の推移を注視する。

次ページから

一般質問について

一般質問とは、町政全般について町長などの執行部に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。

- ※1 一般質問の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

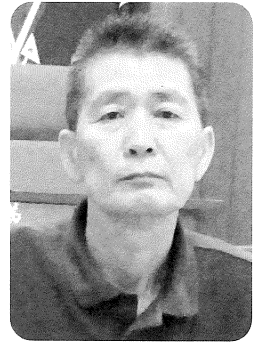
一般質問の録画をインターネットで見ることができます。

智頭町議会録画放送

検索



6月定例会には延べ22人の傍聴者がありました。



河村 仁志

障がい者福祉

障がい者雇用率が達成されていない

町長／正規職員募集を行っている

鳥取労働局管内のハローワークを通じた障がい者雇用は、平成15年から15年連続で毎年上回って過去を更新している。公共団体の障がい者雇用率2・2%に対して、本町は1・1%と障がい者雇用率が未達成という状態だが、今後の障がい者雇用対策をどのように考えているのか。

町長 障がい者雇用に向けた正規職員募集を行っているが、毎

年応募がない状態である。ハローワーク、障がい者就労支援団体とも連携して、障がい者と職場のミスマッチを防ぐ。障がいの内容や程度は、障がいのある人それぞれ異なることから、仕事の内容や勤務時間、環境面など配慮が必要だ。そうした配慮に取り組み、雇用に向けた業務の洗い出しを行うなど、雇用環境の整備を行い、一日も早い法定雇用率達成をめざす。

平成25年4月施行の「障害者優先調達推進法」に基づく物品調達目標金額、数値が設けていない。どのような役務、物品購入の実績があるのか、実績はどうか。

町長 ふれあい橋、どうだん公園、歴史の道など各施設の清掃業務、ひまわり会館の管理業務のほか、事業啓発物品や事務用消耗品の購入などを、また、病院において洗濯業務、食堂の運営について委託を行っている。



障がい者技能能力大会

移住定住

住宅改修事業の再検討は

町長／相談しながら進めて行きたい

移住定住で生活拠点は智頭で子育て、教育、医療、介護を充実させ強力な計画を実施してはどうか。移住定住促進事業として住宅改修事業を必要があれば再検討するとのことだが、今後の見通しは。

町長 移住定住に対して、町民個々が活気に満ちあふれた地域力の向上や担い手育成、交流人口や地域の人々と多様にかかわる関係人口を増やし、移住定住というのは思い切った施策をやらなければならぬ。皆さんと相談しながら進めていく。



新築着工の定住住宅(ゆめが丘団地)

答 町長 木の宿場プロジェクト、山入塾、森ノ学び舎による技術習得や学びの機会を提供している。この取り組みをステップアップさせつつ、将来にどのような形態での人材育成

問 本町の次世代の林業・木材産業を牽引する優れた人材育成を目的に、林業知識や技術習得に専念できる森林大学校や林業アカデミー（大学や研究所の総称）を設置する考えは。

林業振興

町長／将来へ向けて人材育成を進める
森林大学校や林業アカデミーの設置



大河原 昭洋



平成29年4月開校の兵庫県立森林大学校

成を行うべきか、しっかり検討して、国の重要な文化的景観にふさわしい山づくりを、森林所有者や林業関係者の皆さんと一緒に考えて進めていきたい。

問 林産資源を生かす目的で地元産の銘木で終末を迎える「杉の棺おけ」を制作する考えは。
誰しもが避けられない最期を智頭町の杉の木に抱かれて旅立つことができれば、本人や家族も何とも言えない喜びがあるのではないか。

答 町長 智頭杉の銘木を棺おけにして燃やしてしまうことには少し抵抗を感じるが、本町と協定を結んでいるモア・トゥリーズ（※）が商品化をしているという情報もあるので、そこも参考にしながら検討する。

※モア・トゥリーズ 音楽家・坂本龍一氏が代表を務める森林保全団体。平成24年7月に智頭町と森林づくり基本協定を締結。

英語教育

小学校における授業内容の変更点は 教育長／小学3・4年生から導入する

問 2020年度から小学5・6年生の英語教科化が完全実施される。授業内容はどのようになら変わるのか。

答 教育長 今まで行われていなかった小学3・4年生から外国語活動を導入し、英語に慣れ親しむ体験をした後に、5・6年生の発達段階にふさわしい文字の読み書きに進む。

問 小学校での正式教科化に向けて、小・中学校の連携がさらに求められるが、本町の義務教育における英語教育充実を今後どのように進めようと考えているのか。



外国語教科が導入された智頭小学校



高橋 達也

森林セラピー

町長／早速検討しなければいけない

※森林セラピーコースの新規オープン スキー場跡地を活用した「天木(あまぎ)森林公園コース」が7月29日に、電動車椅子も利用できる「横瀬溪谷コース」が8月5日に新規にオープン。既設の「芦津溪谷コース」と「こもれびの森コース」と併せ、4コースとなる。

問 今夏に新たな森林セラピーコースが二つオープン(※)するが、進入路の幅が狭く、すれ違いが困難だ。複数の待避所整備が必要であり、できることから早急に対応すべきだ。

答 町長 お客様に親切なセラピーロードにしなければいけないので、早速検討に入らなければいけない。また、今後の利用状況を見ながら、必要な対策を検討していく。



新規オープンのスキー場跡地を活用した「天木(あまぎ)森林公園コース」。春にはワラビ採りでも楽しめる。

スポーツ顕彰

来年は節目の年、記念の取り組みを 教育長／調査研究していく

問 2020年の東京オリンピック開催を控え、スポーツ気運を盛り上げる良い機会だ。

来年は、①綾木長之助翁が優勝した日本初マラソン大会から110年、②長之助翁の没後50年、③オリンピック開催前年となる。この節目の年に記念となる取り組みを行うてはどうか。例えば、長之助翁のお孫さんによる講演会、町ホームページで特集コーナー設置、小冊子を作成して小中学生に配布など。

答 教育長 提案のあったことを参考に、調査研究していきたい。



智頭町歴史資料館(旧土師小学校)で展示中の「綾木長之助展」

答 教育長 町内のトップアスリート(一流のスポーツ選手)に関する情報収集をしながら、調査研究をしているところだ。



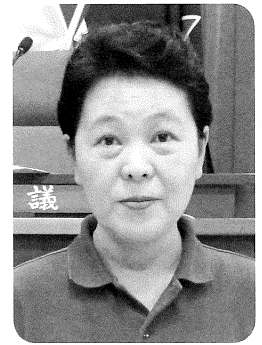
答 町長 昨年の空き家実態調査で、倒壊の危険がある家屋は76棟との結果が出た。防災や景観の面からもなるべく早い対応が必要と認識している。

問 今年5月に受刑者が逃亡し、尾道市向島の空き家の屋根裏に潜伏していた。空き家が犯罪に関わることを認識させられた事件だった。また、都心では、

空き家が棲みかとなり、アライグマやハクビシンが急増しており、本町でも増加の可能性を秘めている。本町における危険家屋の実態の認識はどうか。

危険家屋

町長／代執行などを条例に盛り込む
具体的な対策はどうか



中野 ゆかり

問 具体的な対策をどう考えているか。

答 町長 空き家など対策計画の策定、協議会の設置、調査、助言、指導、勧告、代執行などを条例に盛り込む予定にしている。

未収金

町長／滞納対策本部の取り組みで成果あり
取り組みと成果はどうか

問 住民税や法人税、水道料金など、本町で暮らしていく中で利用者に支払っていただかなければいけないお金がある。それを支払わず滞納し、未収金となっているお金は町全体でいくらあるか。

答 町長 滞納金は公営企業会計も合わせ、約1億4700円ある。



問 滞納対策本部を設置しているが、その取り組みと成果はどうか。

答 町長 進捗状況の確認、困難な事案のヒアリング、研修会などに取り組んでいる。平

成17年度に滞納対策本部を立ち上げたときは、滞納額は2億6400万円あったので、かなり回収の成果が出てきていると自負している。

問 日本は人口減少や高齢社会に直面し、様々な社会制度にひずみが出ています。今後とも未収金を増やさないと同時に、回収に努めていただきたいが、町長の思いはどうか。

答 町長 徴収方法も含め、検討する。





國本 誠一

ぶらくさべつかいししょう
部落差別解消

ぐたいてき
具体的にどう進んでいるのか

町長／今年度中に計画を策定したい

問 昨年12月の一般質問に続き「部落差別解消推進法(※)」の取り組みについて尋ねる。

今年は、世界人権宣言70周年に当たる年だ。

また、智頭町が県内の自治体に先駆けて制定した「智頭町基本的人権の擁護に関する条例」が施行されて25年になる。この条例に基づいて設置されている審議会が、本年3月に開催されたと聞いているが、どのような議論が行われているか。

答 町長 部落差別のない社会の実現を目的とした法律が施行されて、一年半近くが経過した。

理念に基づいた基本計画、実施計画の策定に向け、本町の相談、教育、啓発体制の実態を検証している。

条例とのリンク(つながり)や、県・他の自治体の策定状況を参考にしつつ、智頭町の実情に応じた計画としていくため、慎重に検討を進めている。

問 先ほど言った「智頭町基本的人権の擁護に関する条例」が制定されたのが、平成5年6月18日、まさしく本日(一般質問の当日)だ。そして、その5年後に(条例制定)記念集会を開き、その場で「智頭町人権の日」と定めたそうだ。それも6月18日、まさしく本日で節目の日だ。

問題解決に向けて積極的に取り組んでほしい。具体的にどう進んでいるのか。

答 町長 部落解放同盟智頭町協議会など、関係団体と連携して協議しながら検討を進め、審議会での承認・決定を経て、今年度中の策定を目ざしたい。

※部落差別の解消の推進に関する法律(抜粋)

目的

第1条 この法律は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、全ての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが

重要な課題であることに鑑み、部落差別の解消に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、相談体制の充実等について定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする。

第43回
部落解放・
人権西日本
夏期講座

2018年6月28日(木)・29日(金)

鳥取県米子市

A会場 米子コンベンションセンター(BIG SHIP)

多目的ホール・小ホール

B会場 米子市公会堂 大ホール

第43回部落解放・人権西日本夏期講座実行委員会

6月28日、29日に米子市で開催された講座の資料(表紙)。智頭町議会の全員が参加し、「部落差別解消推進法」などについて認識を深めました。

問 森のようちえん事業でドクターヘリ出動にまで至った事故の対応について、危機管理についていかがお考えか。

答 教育長 今回の事故は、本当に不幸中の幸いで、大事に至らなくてよかったが、見守る保育の守る部分に、大きな見落としがあったのではないかと危惧をしている。

今回の事故を踏まえ、今後は森のようち



都橋 一仁

もり森のようちえん
ドクターヘリ出動に至った事故対応
 教育長／指導を要請したい

えんが活動している町内14カ所の活動フィールドの再点検、県が整備している親水公園などの活動場所の選択、再発防止に向けて事故防止マニュアルの策定、緊急連絡体制の確立など、森のようちえんに指導を要請したいと思う。

○平成7年横浜地裁判決要旨○
 末期患者に対する治療行為中止が殺人罪とならないための適応要件

- ① 患者が治癒不可能な病気に冒され、回復の見込みがなく死が避けられない末期状態にあること
 - ② 治療行為の中止を求める患者の意思表示が存在し、それは治療行為の中止を行う時点で存在することが必要であるが、その段階で患者の明確な意思表示が存在しないときには、患者の推定的意思によることもできる。
- 注)：家族の治療中止希望は、家族も殺人教唆罪に問われる可能性が生じるため、治療行為の中止は慎重に行うこと

治療行為の中止の対象となる措置

薬物投与、化学療法、人工透析
 人工呼吸器、輸血、栄養・水分補給

問 財布を紛失した際の対応として、必死に探す人とすぐに諦める人と二通りにわかれる。しかし、亡くなりそうな命を諦めることが許されないのが日本の現状である。必死で1分でも1秒でも先延ばししなければならぬ命を諦める行為自体が許されない。

また、1995年の横浜地裁の判例(別掲)で治療中止ができる要件が二つあって、一つは、患者本人が納得していること、もう一つは、終末期で回復見込みがないという判例がある。

答 町長 これは、ちよつと難しい。答弁は差し控えさせていただきます。

死 治療中止希望者への対応

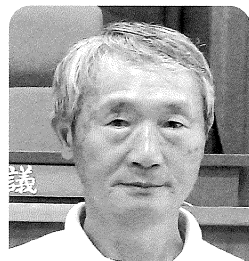
町長／ちよつと難しい



地域医療の拠点・智頭病院

安楽死、尊厳死の判例を念頭に置いた上で、智頭病院で治療中止希望者がいた場合の対応についてお聞きしたい。

町長 これは、ちよつと難しい。答弁は差し控えさせていただきます。



岸本 眞一郎

新図書館

智頭図書館の維持管理費は

教育長／設計が未確定なので不明

問 私は昨年12月定例会で新図書館について一搬質問したが、まだ何点かの懸念が残っている。

人口減少、小中高大生の読書好きの減、飛躍的なIT(情報技術)の進展などの現状の中で、平成29年度に年1回以上利用した人は924人だが、目標としている年間延べ一万六千人を確保できるのか。

答 教育長 新図書館で読書したり本を借り

たりするだけでなく、住民の居場所や交流の場として活用が期待できる。平成32年度には貸し出し利用者一万二千人、その他の事業参加人数2500人を目標としており、なるべく早い時期に一万六千人をクリアしたいと考えている。

問 平成29年度の図書館費は2872万円だが、人員5人、建物面積1000平方メートルの新図書館の維持管

理費は4千万円近くになるのではないかと。火葬場の存続問題では年間900万円の町負担が重たいといっているが、議会報告会などで図書館費に対する町民の関心が高い。いったいどれ位になるのか。

答 教育長 平成29年度の図書館費のほとんどが人件費で、光熱水費についてはカウントしていない。

新図書館は独立した建物なので光熱水費が発生するが、建物の設計が確定していないので詳細はわからない。経済性にすぐれた施設になるよう設計者と十分協議し、情報は議会を通じて住民に公開したい。

山林バンク

森林経営管理法が成立したが

町長／林野行政の大きな転換期だ

問 今国会で森林経営管理法(※)が成立した。智頭町では先行して山林バンク(※)を実施しているがこれをどう組み合わせていくのか、また専門知識を持った職員をどう確保していくのか。

答 町長 いわゆる森林バンク法が成立し、

林業関係者の悲願だった森林環境税創設など林野行政の大きな転換期が到来する。

今後詳細を把握しながら内容を整理したい。今年から地域林政アドバイザー制度を活用し、林業の専門知識を持った職員を育てていきたい。

※森林経営管理法

森林所有者が管理できない森林について、市町村が「経営管理権」を設定し、さらに「経営管理実施権」を設定した業者に委託することができる法律。

※山林バンク

森林経営ができない森林を他の森林経営者へ斡旋する制度で、今回成立した森林管理法で法制化された。



手入れをされたスギ林

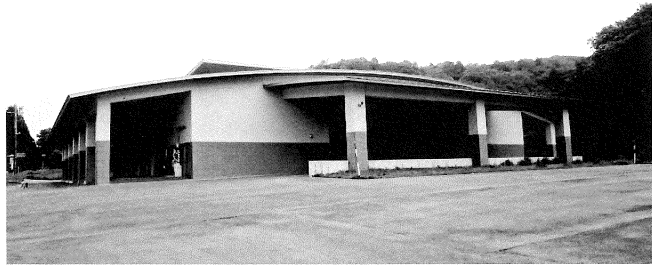
火葬場調査特別委員会

近隣施設の視察や 町内聴き取りなど調査中

町営火葬場の今後の運営をどうすべきか調査・研究しています。

- 施設の視察…琴浦町、美作市、真庭市の3施設
- 町内聴き取り…仏教会、火葬場管理人、火葬場近隣の5集落（議会報告会でも意見交換を実施）
- 今後の予定…6地区で説明会を行い、9月定例議会で議会の意見をまとめます。

（報告者…河村仁志委員長）



平成28年1月に稼働開始した炉数2炉の真庭市（旧中和村）の火葬場（5月31日に視察）

同和問題調査特別委員会

被差別に抗う歴史を学ぶ

■研修日…平成30年3月27日
■場所…岡山市中区
「渋染一揆資料館」

■参加者…議員11人

■概要…財政危機にあった岡山藩が出した俵約御触書の中に、着物に渋染に限るなど被差別部落民を対象にした理不尽なものがありません。嘆願書を出して解決するまでの、人間の尊厳を守り抜くすばらしい闘いを学びました。

（報告者…國本誠一委員長）



渋染一揆資料館で学びました

議会報告会を開催しました

■開催日・地区
5月23日 山郷地区・富沢地区
5月24日 智頭地区・那岐地区
5月25日 山形地区・土師地区

■参加者総数 95人（過去最多）

今年で8回目となりますが、今回は火葬場に関する意見交換を計画したこともあってか、過去最多の参加者でした。参加者から出された意見・要望は、議会で整理して町長へ提出し、その回答は今後の議会だよりに掲載します。



参加いただきました皆様、ありがとうございました。

山郷地区会場（5月23日）

議会運営委員会

議会改革の先進事例を調査

■調査日…平成30年5月18日
■場所…鳥取県日南町議会

■参加者…担当議員5人、議長

■概要…平成26年度に全国町村議会議長会から特別表彰を受賞した取り組みを学びました。

▽住民要望のある住宅改修助成条例などを議員発議で制度化。ホームページで積極的な情報公開。

▽ペーパーレスと事務の効率化のためタブレット端末の導入。

（報告者…高橋達也委員長）



日南町議会議場にて（中央が日南町議会の村上議長）

人生最後まで元気に

ひら おせつ よ
集落で積極的に活動する平尾節世さん(富沢地区)

元気に活躍中

現在の高齢社会では、健康寿命を長くすることが、重要な課題です。また以前に、週1回以上他者と関わり合う機会のある高齢者はそうでない人に比べ、認知症にかかる割合が大幅に少なくなると学習しました。

これらを踏まえ、坂原集落では昨年9月から「いきいき百歳体操教室」を始めました。町の「居場所づくり事業」の補助金を受け、DVDレコーダーや椅子をそろえ、毎週火曜日の午後2時から1時間、全員で号令を掛け合いながら身体や口の体操をします。忙しい時は体操だけ、時間があればお茶とおしゃべりがあったりと無理なくやっています。9月に体力測定をし、3月にまた測定をしたところ、全員の数値が上がっていました。現状維持ができれば良いと話していましたので、予想以上の効果に皆



百歳体操…椅子に座って行います

で喜び合いました。歩くのが辛かった人が10分くらいは歩けるようになったり、立っているのが辛かった人が、近所の人達と立ち話ができるようになったり、今年には田植えで水田に入れたとか、自分で効果を実感している人が多いです。

日常生活も変化

私も肩こりと縁が切れたように思います。このような結果が励みとなり、家でくつろいでいる時でも、足首や膝を動かすなど、日常生活も変化をしているようです。

集落から町全体へ

現在、少しずつ他の集落でも始まっています。この体操が町全体に広まっていくことを願っています。議会におかれましても、多額の予算でなくても効果の多いこのような事業に、力を入れて頂きたいと思えます。

“人生最後まで元気に”を旨として。

豪雨災害のお見舞いを申し上げます

7月5日～7日の梅雨前線による豪雨災害で、被害を受けられた皆さまへお見舞い申し上げます。道路・河川などに多くの被害が発生しました。早期復旧に向け智頭町議会も対応してまいります。



編集後記

編集中の今は、梅雨に入り蒸し暑い日があったり、雨が降り肌寒い日があったり、体調が悪くなりそうですが、元気に過ごしましょうか。

5月23日から25日の議会報告会には多くの町民の方に参加いただき町営火葬場の今後のあり方など活発な議論をしていただきありがとうございます。皆様から寄せられたご意見・要望を町政に反映してまいります。

議員一同これからも開かれた議会をめざして、町民の皆様と共に住んでよかったと思えるまちづくりに邁進してまいります。

(大藤)

編集 議会広報常任委員会

委員長	都橋 一仁
副委員長	安道 泰治
委員	國本 誠一
委員	高橋 達也
委員	大藤 克紀
発行責任者	議長 谷口 雅人